

# 創立120周年記念館(桐陰会館)

## 設計プロポーザルの要綱

筑波大学附属高等学校・中学校では2008年に創立120周年を迎え、教育環境の一層の拡充を目的に在校生保護者、卒業生等より寄付金を募っているところであり、平成23年12月末時点で約1億9千万円のご厚志を賜りましたことにお礼申し上げます。現在これらの資金をもとに、来年秋の竣工を目標として創立120周年記念館(桐陰会館)を建設するため、附属高等学校教員、附属中学校教員、高等学校後援会、中学校向上会、桐陰同窓会の代表を中心に創立120周年記念館(桐陰会館)建設委員会を組織し、施設の考え方を検討してまいりました。

その結果、創立120周年記念館(桐陰会館)の建設趣旨として、生徒、保護者、学校、クラブ、卒業生の縦横のつながりを創り、「附属」らしい伝統・歴史との出会いを可能とするような施設とすることが相応しいとの考え方で一致いたしました。

つきましては、今後の設計、工事においても、この趣旨を最大限活かすため、設計プロポーザル方式により設計提案を求め、最優秀案提案者を創立120周年記念館(桐陰会館)の基本設計の実施候補者として、委員会として事業主体の筑波大学に推薦する方向で考えております。参加有資格者の幅広いご参加と、附属高等学校・中学校関係者の皆様のご理解、ご支援を、何卒宜しくお願い申し上げます。

平成24年4月23日

120周年記念館(仮称：桐陰会館)建設委員会

委員長	筑波大学附属高等学校 校長 茂呂雄二
副委員長	筑波大学附属中学校 校長 藤堂良明
	筑波大学附属高等学校 副校長 妻木貴雄
	筑波大学附属中学校 副校長 館 潤二
	高等学校後援会会長
	中学校向上会会長
	桐陰同窓会代表幹事 下坂秀樹
	桐陰同窓会、東京芸術大学名誉教授 片山和俊
	桐陰同窓会、東京大学教授 野城智也



【写真：筑波大学附属中学校ホームページより】

## ① 計画内容

### 1. 計画施設名

創立 120 周年記念館（桐陰会館）

### 2. 主催者

創立 120 周年記念館（桐陰会館）建設委員会（以下「建設委員会」とする）

### 3. 計画の概要

#### (1) 建築への要望事項

1) 「附属らしさ」の表現

2) 交流の場の創出

生徒、保護者、学校、クラブ、卒業生の縦横のつながり。

3) 伝統、歴史との出会い

#### (2) 敷地条件

1) 所在地 東京都文京区大塚 1-9-1

2) 敷地面積 51,793.7㎡（うち本施設で使用する部分は附属中学校プール跡地）

3) 本プロポーザルは本要綱、配布資料に基づいて取り行われる。特に、以下の内容を理解し、対処することが必要となる。【⑤の(5),(6),(7),(8)ご参照】

- 1 配布資料は桐陰会館プロポーザル用敷地図であること。  
特に現段階で敷地測量図はない。  
高低差なども事務局のテープによる実測寸法。  
基本設計時に敷地測量をするかどうかは筑波大学との協議による。
- 2 敷地全体はキャンパス。今回の建設敷地が、図示の範囲。  
北側は道路との境界、東は隣接文京区立音羽中学校との敷地境界線、  
南は現在ネットフェンスのある位置、西は体育館外壁線。  
方位については、参考図体育館設計図を参照のこと。
- 3 道路も事務局による実測寸法。都道、区道の別などは、基本設計時に文京区  
役所道路課と協議のこと。  
道路の並木は基本的に現状維持。道路対岸の並木の位置は未調査。  
敷地東境界際東側に信号付横断歩道あり、未調査。
- 4 敷地北東にある水道量水器、ガスメーター類、消防用水利標識等は、基本設  
計時に詳細把握のこと。プロポーザル時にはこの辺りに設備引込みやメー  
ター類などがあるとの想定で。

- 5 敷地内樹木は計画により伐採は可能と思われる。ただし基本設計時に学校側との協議、文京区緑化条例によること。
- 6 敷地南境界際コンクリート支柱のネットフェンスは、グラウンドで行われているスポーツと関係あり。硬式野球のボールが飛んでくる範囲にある。代替え方法があれば、撤去可能と思われるが、基本設計時に学校側との協議による。ポンプは現状維持とする。
- 7 地盤条件については、添付の体育館資料によること。基本設計時に調査が必要になるかも知れない。担当の構造設計者および文京区役所との協議によること。
- 8 埋蔵文化財の調査の可能性があること。調査費等に影響が大きいことから要項の構造規模としている。
- 9 今回のプロポーザル時には、筑波大学や文京区役所など所管の役所、隣接音羽中学校、お茶の水女子大学などに直接の問合せを行わないこと。与えられた情報内で行うこと。

### (3) 建築計画概要

#### 1) 用途

学校（筑波大学附属高等学校・附属中学校の教育活動用及び学校・同窓会等の交流用施設）

#### 2) 構造、階数

1階建てを基本とし2階建ても妨げないものとする。（構造は、法規制及び騒音・振動等の利用上の問題が生じない構造形式とする。なお、埋蔵物文化財の関係からは、なるべく軽い構造が望まれる。）

#### 3) 延床面積

4) の要求性能を満たし、800㎡以下とする。

#### 4) 施設計画

##### a) 300人収容の講義室（多目的ホール、小講堂）

- ・全員が簡易な椅子により着席し、講義を受けることを想定する。
- ・可動間仕切りでほぼ2等分に分割できるようにすること。

##### b) 資料閲覧室（約100㎡）

- ・高等学校・中学校保管資料の保存及び閲覧に使用する。【⑤の(4)ご参照】

##### c) 桐陰同窓会事務室（約40㎡）

##### d) 会議室（約30㎡）

- ・15人用会議室を想定。

##### e) 和室（8畳）

- ・資料展示、茶道等にも使用可能なように和室を一部屋設ける。主なる開口部を共用部に接するものとし、共用部から内部をできるだけ容易に目視できるものとする（茶会の見学を想定）。
- ・事務室と共用の給湯室を隣接させ設置すること。

- f) トイレ
- ・用途を理解し、多目的トイレ(1)、男子(大2小3)、女子(4)を計画すること。
- g) 倉庫
- ・折畳可能椅子300、折畳可能机20を収納。
- h) 履き替え線について(靴脱ぎ場及び靴・スリッパ保管場所)
- ・履き替え線を明確に計画すること。
  - ・靴・スリッパの保管場所は50人分程度とし、不足分はビニール袋にて携行する方式とする。
- i) 入口は道路側(外部者、同窓会使用)、グラウンド側(学校、生徒使用)の2箇所とする。
- ・車の引き込みは無し。
  - ・休日・夜間等のセキュリティ対策について考え方を提示すること。
- j) 空調設備
- ・居室については冷暖房設備を設置する。
  - ・なお、本プロポーザルでは、設備面での公共側からの独立した引き込みはないことを前提とする。
- 5) 建設予算 建築・設備・外構で2億円とする。(埋蔵文化財調査費、設計費用は含まない)  
\*プロポーザル以降の本事業においても、追加予算は無いものとする必要がある。
- 6) 竣工目標時期 平成25年9月1日(附属創立125周年に間に合うように)

(注) 本内容に記載された計画概要は、手続き開始の掲示時点でのものであり、今後変更される可能性があります。



写真：筑波大学附属高等学校ホームページより

## ② 参加資格

【参加資格の主旨としては、参加者本人の資格・権利・能力によって、本件の全ての設計・監理に関する作業・役割・届け出を、遂行・完了させることができることであり、事業主体の筑波大学や附属高等学校・附属中学のサポート役として、当初の予定建設費の試算、プロジェクト全体の工程管理、コスト管理も中心的な役割を担うものとする。】

### (1) 設計プロポーザルの提出者に要求される資格

基本的に、設計プロポーザルの提出者は、1) から3) に掲げる資格を満たしている単体の一級建築士事務所の代表者であること。

- 1) 本計画の趣旨の理解に関する観点から、プロポーザルの提出者本人が、東京教育大学附属高等学校・中学校または筑波大学附属高等学校・中学校の卒業生であること。
- 2) 一級建築士としての実務経験に関し10年以上を有しており、自らの設計により竣工した建築物が8以上あること。(下請けによる業務の実績は含まない)  
なお、設計共同体(JV)による参加は認めない。
- 3) 一級建築設計事務所を主宰し、自らの権利において法規上の本計画設計者となり得る資格を有すること。
- 4) 原則として、上記の1) から3) の内容について該当しない場合は、本プロポーザルへの参加は不可とする。  
ただし、必要に応じて、選定委員が個別の判断をする場合がある。

\*参加者側から示された資格に疑義が生じた場合、建設委員会の指示に従うこと。

### (2) 業務実施者について

- 1) 今回の設計プロポーザルの募集は、創立120周年記念館(桐蔭会館)の基本設計者を選定するものである。今後、筑波大学との協議によって、様々な業務形態があり得るが、設計面のリーダーとして主体的に取り組んで頂くことになる。
- 2) 設計提案書の提出者を総括責任者とする。総括責任者は今後想定される設計及び監理業務について、意匠、構造、設備設計等業務を総括する。なお、意匠については再委託を認めない。
- 3) 今後想定される設計及び監理業務完了までの間、総括責任者及び構造担当(もしくは専門分野)の主任技術者については、変更を認めない。ただし、変更の理由及び変更予定者について、当建設委員会がやむを得ないと認めた場合はこの限りではない。

### ③ 審査

#### (1) 選定委員および事務局

##### 1) 選定委員 建築分野有識者

片山和俊（桐陰同窓会、東京芸術大学名誉教授）

益子義弘（桐陰同窓会、東京芸術大学名誉教授）

野城智也（桐陰同窓会、東京大学教授）

高等学校、中学校関係者

附属高等学校関係者代表、

附属中学校関係者代表、

桐陰同窓会関係者代表、

高校生代表、

中学生代表

##### 2) オブザーバー

筑波大学関係者

##### 3) 事務局 岡 雄一、吉田 敏（桐陰同窓会）

###### 【連絡先】

担当：吉田 yoshida-satoshi@aiit.ac.jp

【メールの連絡の場合、必ず件名を 120周年記念館 として下さい。】

TEL 080-5054-1590（個人携帯）

#### (2) 審査書類

1) プロポーザル応募用紙（⑤の(1)）

2) これまでの建築設計に関する考え方 および 過去の主要な3作品の概要（⑤の(2)）

3) プロポーザルの主旨 および プロポーザル内容（⑤の(3)）

\*他に、プレゼンテーションに基づく審査が行われる。

#### (3) 審査書類等の提出について

1) ③の(2)の1)については、指定書式（プロポーザル応募用紙）を使用し5/12までに  
メールで事務局あてに送ること。 詳細は③の(7)を参照。

2) ③の(2)の2),3)は、プリントアウトを4部提出（全て片面印刷）。

3) ③の(2)の2),3)は、ワードファイルかPDF ファイルを(CD または USB メリにて)1部提出。

4) プレゼンテーションのデータは、PPT ファイルかPDF ファイルで(CD または USB メリにて)  
1部提出。(3)と4)は同じCD かUSB メリにて提出して下さい。

5) 提出された書類等は返却を致しません。

6) ③の(3)の2),3),4)は、2012年5月19日に行なわれる審査会に持参し、午前10時に事務局側に提出すること。

(4) 応募費用等

今回のプロポーザルの応募に対し、報酬はありません。

(ただし、選定された者による本計画の基本設計料は支払う予定。詳細は建設委員会の決定によるものとする。)

(5) 質疑応答等

配布された資料により想定し、質疑応答なし。

(学校、役所等への問い合わせは不可とする。)

(6) 審査方法

- ・平成24年5月19日午前10時～夕刻まで、審査会を附属高等学校において開催する予定。応募者本人の出席が必須。
- ・提出された書類および設計主旨説明に基づいて、各応募者による説明（一人15分程度）を行なう予定。（事務局で用意するものは、プロジェクタ[通常のD-Sub15ピン端子]のみですので、PCは各自でご持参下さい。）
- ・提出物閲覧、プレゼンテーションはオープンとするが、最終的な選定については審査委員が行なう。
- ・審査結果は、5月25日までにメールにて応募者に通知する。
- ・尚、提案作品そのものだけでなく、提案者本人の資質も審査する。基本的選出基準として、設計提案内容と合わせて、今回の計画を推進していくのに相応しい資質を求めるものである。

・審査会の予定(5/19)：

午前10:00	参加者集合、提出物(⑤の(1),(2),(3))の確認、展示
午前10:30	提出物(⑤の(1),(2),(3))の閲覧を開始
午後1:00	計画内容のプレゼンテーション開始(一人15分程度)

(7) 事前登録の義務

プロポーザル参加希望者は、平成24年5月12日までに、メールにて参加の登録をすること。

その際、以下を厳守すること。

- ・メールの件名は必ず「120周年記念館プロポーザル応募」とすること。
- ・メールの本文にも、氏名、電話番号、メールアドレス、応募希望の旨を記載すること。
- ・事務局からの返信を確認すること。(もし返信が確認できない場合、再度事務局側に連絡してください。)

【提出先および問合せ先】担当：吉田 yoshida-satoshi@aiit.ac.jp、080-5054-1590

\*なお、本プロポーザルに提出された内容については、著作権は作者に帰属するものであるが、委員会が決めた広報活動等のための特定媒体への掲載については協力して頂くことを、プロポーザル参加の前提とする。

## ④ 選定された後の業務の概要

今回の選ばれたプロポーザルは本計画の素案として採用され、120周年記念館（桐陰会館）建設委員会より選定された者に本計画の基本設計、目標工事費算定を依頼する予定。また、選定された者は、附属高等学校、附属中学、桐陰同窓会の関係者のサポート役として、本計画を中心となって進めていくことが必要となる。ただし、発注者である筑波大学の判断により、実施設計、監理業務に参加する可能性がある。

### (1) 業務内容

- I. 建物基本設計
- II. 目標工事費算定（建設費予算は、建築本体、設備、外構等を含め2億円以下）
- (III. 実施設計)
- (IV. 設計監理)

### (2) 履行期間

業務内容 I 及び II 契約締結日の翌日から  
詳細は建設委員会の指示に従うこと。

### 事業の注意事項

- ・建設事業の主体は筑波大学であり、基本設計以降の発注は、大学の方針によって、大学から行われる。
- ・当事業によって、建設委員会から推薦を受けることになった者は、高校・中学校、高校・中学校の父兄、桐陰同窓会、筑波大学などの関係構築に努めることが求められる。また、関連行政機関との法規面での折衝については責任を持って対応し、コスト管理、工期管理については発注側を中心となってサポートしていくことが必須である。



## ⑤ 添付資料のリスト

添付資料として、以下のリストの内容を確認すること。(ファイルの関係上、縮尺がずれる場合がありますのでご注意ください。)

- (1) プロポーザル応募用紙  
(5/12までに提出が必須の事前登録用、A4縦、2ページ)
- (2) これまでの建築設計に関する考え方 および 過去の主要な3作品の概要  
(5/19の審査会当日に持参する内容、A3横、片面印刷2ページ)
- (3) プロポーザルの主旨 および プロポーザル内容  
(5/19の審査会当日に持参する内容、A3横、片面印刷2ページ)

\*提出用添付書類は以上の3点です。(他にプレゼンテーション用のデータを1部提出)  
③の(3),(7)を確認すること。

- (4) 参考資料 (資料閲覧室の収納イメージ原案)  
\*本参考資料は、収納すべき対象の種別や容量を理解するためのもの。
- (5) 桐蔭会館プロポーザル用敷地図
- (6) 現況写真 (写真14枚)
- (7) 敷地内配置図 (中学校体育館竣工時資料より)  
\*現在との相違が含まれるが、特に、隣地の「文京区教育センター」は、現在「音羽中学校」となっている点に注意すること。
- (8) 地質柱状図 (中学校体育館竣工時資料より)

本プロポーザルについての連絡先

事務局 岡 雄一、吉田 敏 (桐蔭同窓会)

【連絡先】

担当：吉田 yoshida-satoshi@aiit.ac.jp

【メールの連絡の場合、必ず件名を 120周年記念館 として下さい。】

TEL 080-5054-1590 (個人携帯)